

償還交付運用報告書

第19期（償還日 2017年1月12日）
作成対象期間（2016年12月21日～2017年1月12日）

グローバル資源エネルギーファンド

追加型投信／海外／株式

償還日（2017年1月12日）	
償還価額	8,841円66銭
純資産総額	191百万円
第19期	
騰落率（分配金再投資後）	△0.5%
分配金合計	0円

（注1）騰落率は収益分配金（税込）を分配時に再投資した
ものとして計算したもので、小数点以下第2位を四
捨五入して表示しております。

（注2）以下本書において、純資産総額の単位未満は切り捨
てて表示しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全
体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供す
る旨を定めております。

本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告
書（全体版）は、右記ホームページの「ファンド情報・
基準価額」の「償還済ファンド」から当ファンドのフ
ァンド名称を選択することにより、当ファンドの「運
用報告書」の項目において閲覧およびダウンロードす
ることができます。

運用報告書（全体版）は販売会社にご請求いただけれ
ば当該販売会社を通じて交付いたします。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げ
ます。

ご投資いただいております「グローバル資
源エネルギーファンド」は、主として、
カナダの大手運用会社であるRBC Global
Asset Management Inc.が運用する外国籍
の投資証券を通じて、世界の資源関連企業
の株式等へ投資することにより、信託財産
の長期的な成長を目指して運用を行ってま
いりました。このたび、約款の規定に基づ
き、繰上償還の手続きを経たうえで、2017
年1月12日をもちまして繰上償還いたしま
した。ここに謹んで設定以来の運用状況と
償還金をご報告申し上げます。

受益者の皆様には、これまで長らく当フ
ァンドをご愛顧いただき、心より厚く御礼を
申し上げます。

今後とも当社ファンドにつきまして、一層
のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

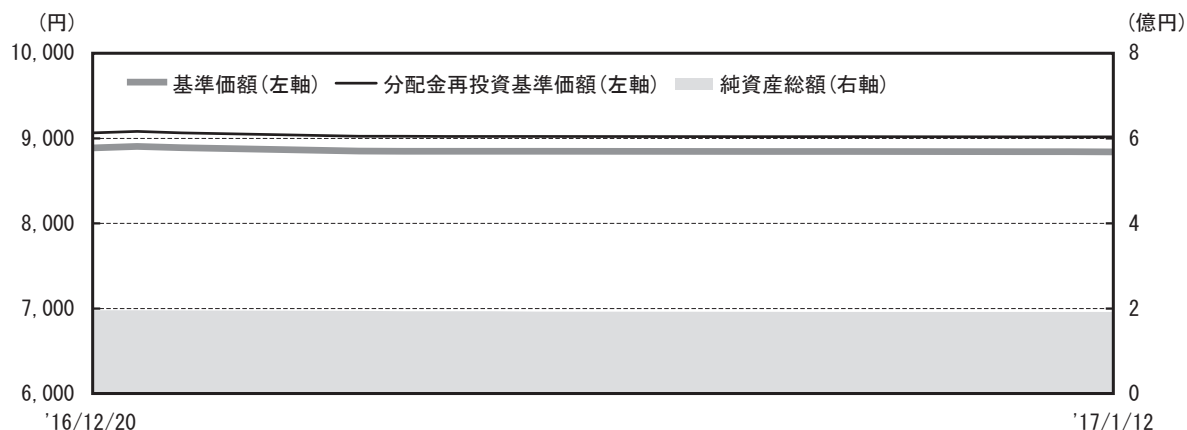
TORANOTEC投信投資顧問

東京都港区虎ノ門4-3-1
城山トラストタワー27階

＜お電話によるお問合わせ先＞
電話番号 03-6432-0782
（受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。）
インターネットホームページ <http://www.toranotecasset.com/>

■運用経過

基準価額と純資産総額の推移(2016年12月20日から2017年1月12日まで)



第19期首 : 8,887円
第19期末 (償還日) : 8,841円66銭 (既払分配金0円)
騰落率 : $\Delta 0.5\%$ (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

○当ファンド
(上昇要因)
特にありません。

(下落要因)
主要投資対象の「RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund」の下落などが、基準価額の主な下落要因となりました。

○FC・マネー・マザーファンド
日銀が2016年1月29日にマイナス金利の導入を決定したのち、短期金利が全般的にマイナスとなったことなどが、基準価額の若干の下落要因となりました。

1 万口当りの費用明細

項 目	第19期 (2016年12月21日～2017年1月12日)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	7円	0.08%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 なお、期中の平均基準価額は8,854円です。 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンド財産の保管管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投 信 会 社)	(3)	(0.03)	
(販 売 会 社)	(4)	(0.05)	
(受 託 会 社)	(0)	(0.00)	
(b) そ の 他 費 用	2円	0.02%	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用等は監査法人に支払う監査費用、法定開示書類等の作成・印刷および交付に係る費用、法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用等
(保 管 費 用)	(－)	(－)	
(監 査 費 用 等)	(2)	(0.02)	
合 計	9円	0.11%	

(注1) 費用（消費税のかかるものは消費税を含みます。）は追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) ー印は該当がないことを示します。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

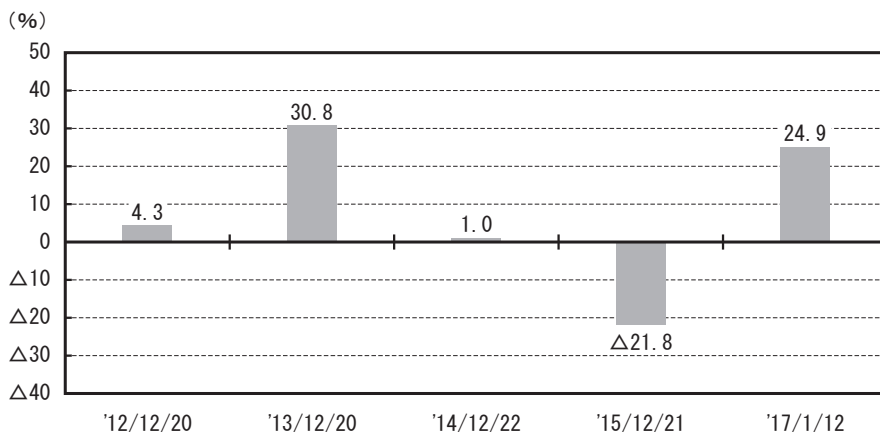
最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込)を再投資したものと計算しています。

(注2) 実際のファンドにおいては分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

最近5年間の年間騰落率



決算日	2011年12月20日 決算日	2012年12月20日 決算日	2013年12月20日 決算日	2014年12月22日 決算日	2015年12月21日 決算日	2017年1月12日 償還日
基準価額 (円)	6,704	6,989	9,143	9,051	7,079	8,841.66
期間分配金合計 (税込) (円)	—	0	0	200	0	0
分配金再投資騰落率 (%)	—	4.3	30.8	1.0	△21.8	24.9
純資産総額 (百万円)	509	407	416	300	197	191

(注) 当ファンドは、世界の資源・エネルギー関連株に幅広く投資を行うため、特定のベンチマークおよび参考指数等を設けておらず、上表には市況を併記しておりません。

投資環境

<世界経済の動き>

当期間、世界経済には米国経済を中心に明るさも見え始める動きとなりました。米国においては、2016年11月8日に行われた米国の大統領選挙でトランプ氏が次期大統領に選出されると、米国経済の成長期待から、その後発表された景気指標では経済の先行きに改善傾向を示すデータも現れてきました。欧州経済は、保護主義の台頭懸念などが嫌気され、本格的な回復局面入りとはなりませんでした。新興国では、2016年11月30日に石油輸出国機構（OPEC）が減産に合意したことで、原油価格の大幅な下落リスクが後退したことが、今後の景気見通しにプラスに作用する可能性も出てきました。

<資源関連株市場>

当期間、資源関連株はまちまちの動きとなりました。原油価格は、前期に大幅な上昇となったことの反動などから若干下落し、WTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）ベースで1バレル当り期初\$51.90から期末\$50.82となり、2.1%下落しました。なお、当期間のS&P500エネルギー株指数は3.4%の下落、S&P500素材株指数は0.3%の上昇となりました。

[Bloombergのデータを基にTORANOTEC投信投資顧問算出]

<外国為替市場>

当期間の米ドル・円レートは、前期に大幅な米ドル高・円安となったことの反動などから、米ドル安・円高となりました。期初1ドル117.18円でスタートし、115.25円で当期を終了しました。

<国内短期金利市場>

当期間の国内短期金利は、日銀のマイナス金利政策が継続したことから、マイナス圏で推移しました。日本国庫短期証券3ヵ月物は当期間中 $\Delta 0.45\% \sim \Delta 0.31\%$ 程度で推移しました。

ポートフォリオ

○当ファンド

2016年12月16日に当ファンドの繰上償還が決定したことを受け、期初に主要投資対象である「RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund」をすべて売却しました。

○FC・マネー・マザーファンド

当ファンドは、相対的に金利のマイナス幅の少ないコール・ローンで運用することにより、安定運用に努めました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは、「RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund」の投資証券を通じて世界の資源・エネルギー関連株に幅広く投資を行うため、特定のベンチマークおよび参考指数等を設けておりません。

分配金

第19期につきましては、繰上償還のため分配は行いませんでした。

■お知らせ

繰上償還について

当ファンドの運用資産は信託約款で定めております「受益権の口数が30億口を下回る」状態が続き、「運用の基本方針」に基づく運用が困難な状況であると考えられるため、このまま運用を継続するよりも、信託を終了し、お預かりいたしました運用資産をお返しすることが受益者の皆様の利益に資するとの判断に至り、法令および信託約款の定めに基づき平成28年12月16日に書面決議を行いました。その結果、平成29年1月12日に信託終了（繰上償還）いたしました。

■ご挨拶

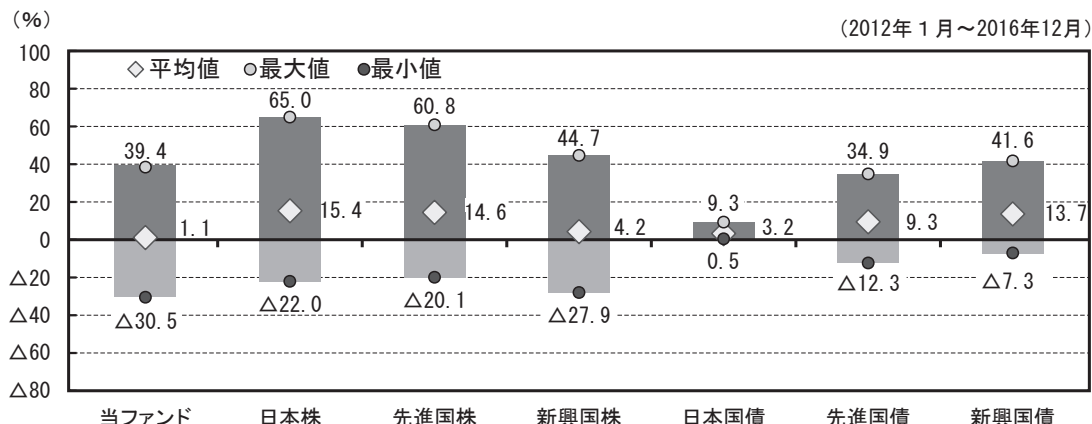
受益者様には長い間のご支援誠にありがとうございました。今後とも弊社ファンドにつき、変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2007年12月21日から2017年1月12日（当初は無期限）までです。
運用方針	この投資信託は、主としてカナダの大手運用会社であるRBC Global Asset Management Inc. が運用する外国籍の投資証券を通じて、世界の資源関連企業の株式等へ投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主要投資対象	① ルクセンブルク籍の外国投資法人「RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund」の投資証券（米ドル建て） ② 国内籍の証券投資信託「FC・マネー・マザーファンド」（マザーファンド）の受益証券（当該受益証券は、ファンド・オブ・ファンズのみを取得させることを目的とするものです。）
運用方法	主要投資対象に対するファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。 株式への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年2回（6月20日、12月20日。ただし休業日の場合は翌営業日）決算を行い、経費控除後の利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

■参考情報

◇当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は2012年1月～2016年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が掲載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率と異なる場合があります。

(注4) 騰落率は、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

[出所：QuickまたはBloombergのデータを基にTORANOTEC投信投資顧問作成]

◇各資産クラスの指数（詳細は後述9ページをご参照ください。）

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックス（円ベース）
新興国株	ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックス（円ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債	シティ新興国市場米ドル建てソブリン債券インデックス（円ベース）

■当ファンドのデータ

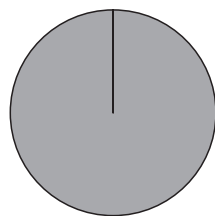
(2017年1月12日現在)

組入ファンド

償還日現在、有価証券等の組入れはございません。

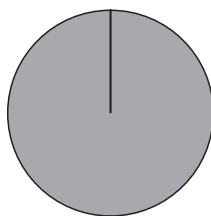
種別配分等

資産別配分



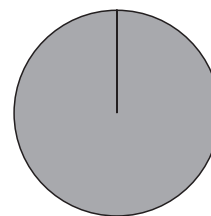
現金等
100.0%

国別配分



日本
100.0%

通貨別配分



日本円
100.0%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	償還日 2017年1月12日
純資産総額	191,804,678円
受益権総口数	216,932,971口
1万口当り償還価額	8,841円66銭

(注) 当期中における追加設定元本額は6,033円、同解約元本額は3,401,066円です。

■「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

資産クラス	対象指数
日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
	東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックス（円ベース）
	ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックスとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。
新興国株	ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックス（円ベース）
	ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックスとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債
	NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI国債は野村證券株式会社の知的財産であり、ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
	シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されているインデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権とその他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
新興国債	シティ新興国市場米ドル建てソブリン債券インデックス（円ベース）
	シティ新興国市場米ドル建てソブリン債券インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されているインデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権とその他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。

TORANOTEC投信投資顧問